

# 企 画 委 員 会

平成29年4月12日  
委員長 福田勝法

## ◇企画委員会の役割

懸案事項等について、中長期的な観点から検討し、理事会に提言・報告することを任務とし、組織運営、財政等を担当します。本年度は、①中期的な財政健全化策の検討、②評価事務の承継及び維持・改善の検討、③研修の運営について検討、④広報活動の方針その他の検討を行いました。

## ◇委員会開催

- 第1回：平成28年6月18日（土）午後1時30分～5時  
（東京航空会館503会議室）
- 第2回：平成28年10月1日（土）午後1時30分～5時  
（TKPガーデンシティ仙台勾当台カンファレンス2）
- 第3回：平成29年3月4日（土）午後1時30分～5時  
（東京航空会館505会議室）

## ◇委員会活動等

- ・全国競売評価ネットワークの収支決算推移及び過去4年間の収支平均（平成28年度は直近の会員数による予算、決算は、暫定）並びに今後の評価人候補者の減少予測割合等を総合的に分析・検討し、①通常会費を現況調査発令件数で除し、按分、徴収する案、②定額の会費と不足分を特別会費として徴収する案を提案しましたが、会員への情報提供は偏向したのではなく、機会均等（受益者負担、）である点、会費負担の公平性を担保する必要性等の観点から再度見直しの指摘を受け、平成29年度からの会費徴収の具体案を提言しました。値上げの理由などは総会議案審議の中で説明する予定です。なお、現行の特別会費の徴収は、平成28年度で終了します。

- ・法律の改正等を踏まえた、最新の物件調査時の注意を喚起するため、再開された「物件調査等研究委員会」がヒヤリハットに関する事例を約100収集しており、過去の「ヒヤリハット事例集」を基に、今回収集された事例等を含め、事例を分類・分析して頂き、「新ヒヤリハット事例集」を編纂、出版し、会員の自己研修や情報提供に努めます。このためには、平成29年度に「研修出版特別委員会」の立ち上げが必要で、早期の出版に向け、事業を推進します。
- ・新人研修や継続研修についても、引き続き、全国統一的な研修会、出前研修会の開催やe-ラーニング研修等の効率的な研修運営の提案を行いました。
- ・4月に東京で実施されたサービサー業務研修会以後、福島で類似の研修会が行われ、また、9月に神奈川でも実施されました。この内容を事務局で取り纏め、①HPへの公開、②会長経由で全会員に向けて一斉メールで伝達する等、情報を共有することを提案しました。  
また、広報活動の一環としての外部研修については、今後も各研究会単位での開催が望ましいが、会場費や講師謝礼等の開催研究会の負担が大きいことから、KBネットが資料、データ等を作成、パッケージ化しての提供や講師費用の負担をする等のサポートを行う必要があります、講師謝礼等の規程見直しを提案しました。
- ・KBNのHP掲載資料や過去の研究成果物等の有効活用：HPの掲載資料については、内容の早期更新、新着情報の整理を行い、更新等の情報を事務局から各研究会会長に一斉メールする等の方法で告知するよう提言しました。

#### ◇その他

情報発信、他団体等との連携の課題：「対外発信、意見交換会開催について」

- ①司法競売の優位性、公正性等の非営業的な対外発信強化について広報委員会によるHPを活用した情報発信や各評価人候補者が出来る対外発信について、引き続き検討します。
- ②日本執行官連盟や（公社）日本不動産鑑定士協会連合会との連携について両団体と過去に各1～2回、会合が開催されました。その際の情報交換の内容や開催時期等を踏まえ、今後も、開催の必要性や議題等について継続的に検討します。

以 上